

ぬまっこ 号外

ぼんじてってい ～凡事徹底～

令和5年6月23日

発行者

校長 三浦 了二

「時を守り、場を清め、礼を正す」

この言葉は、哲学者、教育者である【森 信三（もり のぶそう）】の教えとして知られている言葉です。森 信三は、1896年に生まれ1992年94歳でお亡くなりになりました。『人間の生き方』について教育現場や企業研修等で幅広く活用されています。

【時を守り】とは

文字通り、「時間を守る」ことです。時間を守るためには、先のことを考えて行動することが必要です。時間を守ることで、周りの人からの信用を得ることもできます。

【場を清め】とは

掃除や整理整頓をすることです。掃除をすることの意味は、① 気づく人になれる ② 心を磨く ③ 謙虚になれる ④ 感動の心をはぐくむ ⑤ 感謝の心がめばえる、です。自分の生活している場所をきれいにすることが大切です。机やロッカーの整理整頓はできていますか？足元のゴミは拾えていますか？気持ちの良い環境で勉強や運動ができるといいですね。

【礼を正す】とは

あいさつをすること、返事をするということです。あいさつの意味は、相手に「心を開いていますよ」と伝えること。人より先に、大きな声で、相手が気持ちよくなるあいさつや返事ができるといいですね。

★「時を守り、場を清め、礼を正す」

沼部小学校のみんなは本当に頑張っていると思います。これからも、意識しながら生活することで、もっともっと素敵な学校になります。皆さんで頑張ってください。

「場を清め」

児童下校後の教室や廊下です。机がそろって、椅子もきちんと机の下に入れられています。翌朝気持ちよく子供たちを迎える準備ができています。すべての教室がこのように整理整頓されています。整った環境は、子供たちの温かい心を育みます。



「時を守る」

児童会でけじめある行動を呼びかけるため「5分前行動」のポスターを作り、昇降口に掲示してあります。全校でこの約束をしっかり守れるよう声掛けしていきます。